

# TOPICS

## 木漏れ日の木陰のような、優しく心豊かになる病院へ



高く開放的な空間となっており、一般待合の奥には小児科専用の待合室もできました。2階の病棟は、明るく広い廊下の両脇に病室が並び、西側には広いテラスがついていて、日向ぼっこをすることができます。病床数はこれまでと同じで、個室6室、および4床室・2床室ともゆったりと落ち

2018年10月に老人ホーム棟の工事をはじめてからまる3年がたち、このたびようやく、すみれ病院新病院が竣工し、9月21日から診療を開始しました。

新病院は「木漏れ日の木陰」でござるような優しい雰囲気で統一されています。特に1階の外来部分は、天井が

### 新しいすみれ病院が完成！



病室



待合室

ついた空間で療養できるように工夫されています。

10月からは旧病院棟の取り壊しがはじまり、外構工事は来年3月まで続きます。地域の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、引き続きご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



## ご縁と密なコミュニケーションがあつての長いおつきあい

PON PON Design

〒536-0025 大阪市城東区森之宮2-6-747 TEL 06-6967-4566 / 080-3107-7274

北村 等さん



愛育館と10年以上関わって下さい、「パン工房」を中心にご協力頂き、お力を貸して下さいます地域の方を紹介いたします。

一愛育館との関わりのきっかけなどを教えてください。

私は城東区でデザイン事務所を経営しています。愛育館の職員と家がご近所で、社会活動をご一緒にして知り合い、今の愛育館の建替えの際、「子どもたちのために、パン工房を立ち上げたいので協力してほしい」と依頼され、ロゴなどのデザインを担当しました。それ以来、販売用のテーブルやワゴン、ホームページやチラシなども制作し、今に至っています。確かにパン工房オープンの頃、ワンホールのチーズケ



一キの購入が100人を超えたと記憶しています。そこで「100人マーケティング」というスローガンを掲げ、パン工房「えがお」のパンで顔の見える100人のお客様を幸せにする、そして「えがお」に関わる子ども達や職員みんなも、一緒に幸せになると感じました。

一愛育館の印象をお聞かせください。  
愛育館の印象はとにかく施設に関わるスタッフ全員が誠実で一生懸命な事、子どもたちに対する深い愛情と思いやりに感心いたしました。私自身あまりコミュニケーションが得意な方で

やはり販売用のテーブルやワゴンで、できるだけコストをかけないように、廃材を利用したり、なるべく手元にある材料を使って工夫しながら作りました。また、毎回チラシ等を依頼の際に、コミュニケーションして意図を汲み取るのに時間がかかるので、それが一番大変です。それでもご縁と密なコミュニケーションなくしてはここまでこれなかったのではないかと感慨深いものがあります。

# 福祉のひろば

## 2021年11月号 第624号 毎月1日発行

発行 社会福祉法人 大阪福祉事業財団城東鶴見連絡会広報部

〒536-0001 大阪市城東区古市1-7-8

編集 城東・鶴見ブロック連絡会広報部 ☎06(6931)0098

### CONTENTS

- 2・3面 特集 コロナ禍の子どもたちと学校
- 4・5面 特集 第44回福祉まつり中止のお知らせ 総合相談事業「いっぽ」
- 6・7面 指針盤 福祉時評 雑誌福祉のひろば イベント情報 オススメ一本！ など
- 8面 トピックス わ！わ！わ！

## 地域の絆を紡ぐ福祉まつり、 来年こそ皆の力で開催を

### 福祉まつり中止のお知らせ



第43回福祉まつりの様子（2019年開催）

4・5面に関連記事



霜月に入り、身に染みる寒さの日もだんだんと増えてきました。こんな時期にはお鍋の温かさがなんともうれしいものです▶小学生の頃、お鍋は私の得意料理でした。具材を切って煮るだけの簡単な料理ですが、お肉も野菜もお出汁も大好きだった私にとって、お鍋は自分の「大好き」がたくさん詰まったスペシャルメニューでした。夕飯の準備

を手伝う日には水炊きやキムチ鍋など色々なお鍋を作り、自分が頑張って作った料理を家族みんなで囲むと、なんだか温かい気持ちになりました。家族に「おいしいね」と言ってもらえると、ちょっと誇らしことに気づいたことをきっかけに、自分の作ったもので相手を幸せにすることの喜びを感じ、当時の私は調理に関わる仕事を目指すようになりました▶現在私は調理の仕事では

なく、作業所の支援員として利用者の方と一緒にカフェで働いています。カフェで一緒に働く中で、利用者の方々に料理が完成していく楽しさを感じてもらいたい、自分が関わって完成した料理をお客さんに美味しいと喜んでもらえる誇らしさや、食べてくれたお客様からの「ありがとうございます」を受け取る事に幸せを感じてもらえる、そんなお店を目指していきたいと思います。（渡）